


- 「ない」ことの価値を知る
  - コップの例えと機能性
    - 空洞があるから飲み物を注げる
    - 実体のない部分が役割を担う
  - 
    - 空白の時間が新しい発想を育む
    - 余裕が柔軟な対応力を生む
    - 有を支えるのは見えない「無」
  - 予定表の余白とアイデア
- 名前が境界線を作っている
  - 言葉による分類の仕組み
    - 名付けることで対象を固定する
    - 名前が有と無の境目を作る
  - 
    - 「有」の境界線を取り払う
    - 名前のない状態に戻り本質を突く
    - 既存の枠組みを外して物を見る
  - フラットに世界を眺める
- 創造性は空白から生まれる
  - 不便さや欠乏から生まれる工夫
    - 不足が新しい仕組みを創り出す
    - 制限のある環境が知恵を生む
  - 
    - 余白を埋めることで完成する
    - 完璧すぎないことが関わりを生む
    - 意識的に余白を残しておく
  - 未完成の美学と想像力